

澤井講師の「読むガイドンス」



収録担当
澤井 清治 講師

1 「7割主義の効率学習で」合格を目指せ！ 短期合格のコツはこれだ！

社労士試験の特徴は「合格ライン」の設定にあります。メインの**択一式試験**は正答率およそ「**6割～7割**」が総合点の合格ラインです。また、科目ごとの基準点(原則4点以上)もクリアする必要があります。

選択式試験(穴埋め問題)については、総合点と、科目ごとの基準点(原則3点以上)を満たす必要があります。選択式試験は年度によって難易の差が大きく、基本的な問題を落とすしまうと苦戦することがあります。なお、択一式・選択式ともに難問が出て、特定の科目で過半数の受験者が基準点に満たない場合は、**救済制度**によって基準点が下がることがあります。特に選択式では、毎年救済が発生しています。

つまり、短期で合格を狙うなら完璧を目指さず「**7割主義**」の学習に徹することが重要なのです。学習の範囲を社労士試験の得点ゾーンに絞り込み、そこを徹底して強化しておくのです。スピードマスター合格講座は、以下の「7割主義の効率学習」をコンセプトとして設計されています。

効率重視作戦(その1)

テキストに「7割ゾーンを明確化」

LECの社労士講座のインプット用テキスト「パーフェクト社労士」は、判例や通達等、「万一の出題」に備えて、網羅性の高い教材として定評があります。

他方、このパーフェクト社労士には、「**7割圏外ゾーン**」が明確にされています。

短期集中合格を目指すためには、**出題ゾーン**をがっちり押さえれば合格に必要な十分な知識をインプットできます。メリハリをつけた合理的なインプット学習をしましょう！

効率重視作戦(その2)

「最新5年過去問」を徹底履修

一問一答過去問BOOKで、最近5年分の過去問を攻略！

過去問は、くり返し出題される、社労士受験生全員のバイブルです！

特にここ数年、本試験で個数問題が増えてきており、より正確な知識が求められているため、過去問は股別に攻略していく必要があります。

また、最近では、事例問題が増えたり、実務に近い問題が増えたり、問題文が長文化したりと、本試験の出題傾向そのものが変わってきています。

したがって、**必要最小限の時間でアウトプット訓練をするなら、最近5年分に絞るのがベスト**です！

過去問を股別、分野別に編集し、一問一答形式にまとめた「一問一答過去問BOOK」では、

最近5年分+その前5年分の合計10年分が掲載され、それぞれがわかりやすくマークされていますので、最近5年分に絞って、徹底的かつ効率的に攻略しましょう！

効率重視作戦(その3)

「動くねコレジ」で予習&復習くり返し学習で知識定着

「動くねコレジ」の澤井式まとも講義で予習。本論講義で学習したあとも、「動くねコレジ」の澤井式まとも講義で復習。また、「動くねコレジ」は印刷したものをお渡ししますので、まとめノート不要！短期集中合格のためには、自分のまとめノートを作っている時間はありません。「動くねコレジ」印刷版に、まとめの図表や、理解するためのポイント等、**必要な情報がまとめてある**ので、最大限に活用しましょう！

効率重視作戦(その4)

あんきモンで「語呂合わせ」

「あんきモン」で、効率良く暗記！

社労士試験は、科目も多く、暗記しなければならぬことが多いです。理屈ではない数字も、たくさん覚えなければなりません。**ゴロや七五調で楽しく頭に叩き込んでしまえばいい**！

頭に残るゴロを作らせたら右に出る者がいない、ゴロの達人：澤井先生が暗記事項をまとめて講義する「あんきモン」講座。通勤時間等のスキマ時間に、くり返し聞いて覚えていきましょう！

効率重視作戦(その5)

音声ダウンロードが「速聴できる」

講義音声を、速聴できる！

LECの通学(Webフォロー付)、通信(Web)では、講義音声がスマホ等にダウンロードできます。受講料込みなので、音声ダウンロード分で別料金は発生しません。しかも、ダウンロードした音声に、便利な「速聴機能」が実装されています！これは便利！

速聴機能に、**講義音声を何度も速聴**、くり返し学習で知識を定着させましょう！

さらに！

Zoom

通学⇄通信オールフリー!!

通信生に嬉しい!

通学も通信も乗り入れ自由!

スピード合格講座の通信生は、スピード合格講座の**通学クラスに乗り入れ自由!**

「通信クラスで学習していると、どうしてもモチベーションが落ちてしまう…」

「わからないところがあつたときに、先生に質問したい!」

こんな悩みは、通学クラスへの乗り入れ自由で解消!

通信クラスの受講生も、通学で受講したいときは、本論編に限り(※)、いつでも通学受講できます!

LECのスピードマスター合格講座は、行きたいときに通学受講できます!

さらに、Zoomクラスを通信生の学習スケジュールや、通学生の欠席補講等にご活用ください。

※通信クラスの受講生が、通学クラスに乗り入れできるのは、スピードマスター合格講座の本論編に限りです。直前対策講座(改正法攻略、白書対策、模試等)は、乗り入れ対象外です。

2 収録担当「澤井清治講師」の

講義の特長とは?

学習の成果=学習の質(Q)×時間(T)×モチベーション(M)

「みなさんこんにちは、収録担当、やる気MAX引き出し講師の澤井です」

短期で効率よく勉強するときに大事なことは「**モチベーションを高いレベルでキープする**」ことです。なぜなら、

→学習の成果は、学習の質(Q)×時間(T)×モチベーション(M)

で表すことができるからです。

勉強時間が少なくとも、学習の質(Q)とモチベーション(M)が高ければ成果は充分出るので、モチベーションを高いレベルで維持できれば、**集中力も維持**することができます。通学も通信もモチベーションが高まる楽しい講義を展開していきます。**勉強は明るい気持ちで楽しくする**、その先に合格があると考えてください。

また、試験で合格点を取るためには、「ベースとなる基礎知識の習得」と「頻出事項の暗記」がどうしても必要です。そこで私の講義では、必要な項目をコンパクトにまとめた「**フレーズ**」や「**語呂テク**」を提供し、受講生の皆さんを強力にバックアップしています。

2025年合格目標 スピードマスター合格コース(WEB 通信)は、澤井講師と西園寺講師の乗り入れができる!

西園寺講師の「読むガイドンス」



収録担当
西園寺 華 講師

社労士試験は難関資格!でも、効率的な学習で短期間合格も夢じゃない!

みなさん、社労士試験の「合格率」をご存じですか?なんと「約6%」と非常に難易度の高い試験です。その理由は大きく3点あります。

■難関資格の理由_その1

「試験範囲がとにかく広い」

社労士試験は、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法、労働保険徴収法、労務管理その他の労働に関する一般常識、健康保険法、国民年金法、厚生年金保険法、社会保険に関する一般常識と**全10科目から出題**されます。多岐にわたる法律や制度についての知識が求められます。

■難関資格の理由_その2

「科目ごとに合格基準点が存在する」
総合得点が高くても**1科目でも合格基準点を**

下回っていれば不合格となるため、試験範囲全般を網羅的に対策する必要があります。

■難関資格の理由_その3

「毎年、多くの法改正が実施される」

社会保障制度は世間のニーズや時代の背景に合わせて柔軟に対応していかなければならず、頻繁に法改正が行われます。**4月時点で発表される法改正**の内容は、同年の社労士試験の出題範囲に含まれます。

これらの理由が社労士試験の難易度を高くしている所以です。しかし、社労士試験の特徴を理解し、効率的な学習を行うことで短期間で合格も夢ではありません。その夢を実現するために設けられた学習コースこそ「**スピードマスター合格コース**」です。

短期間で合格を叶えるために必要な勉強とは?

1. 合格基準点「7割」を意識した基本知識の定着

社労士試験に合格するためには各科目で基準点をクリアすることが必須となります。その合格基準点は、概ね満点の**7割**に設定されています。

す。しかしながら、合格基準点とほぼ同一の**約7割**の問題が基本的な知識を問う問題で構成されていることがポイントです。そのため、**基本をしっかりと押さえ、基本的な約7割の問題を確実に獲得することが合格への近道**です。LECの社労士講座のインプット用テキスト「パーフェクト社労士」では、**7割圏外ゾーン**を明確にしています。基本的な問題をこぼさないためにも、**7割ゾーンに力を入れて学習しましょう。**

2. 知識の蓄積「インプット」と活用「アウトプット」の反復学習による「知識の定着」

インプット学習だけで社労士試験の幅広い試験範囲の知識を身に付けることは非常に困難です。**インプット学習(講義を受講する、テキストを読む等)で必要な知識を覚え、アウトプット学習(問題を解く、学習した内容を人に伝える等)で覚えた知識を活用**します。この時、インプット学習からアウトプット学習への一方通行にならないように気をつけましょう。例えば、「講義を受けたら、すぐさま過去問に取り組み。過去問に取り組んだらテキストに戻り、条文を確認する。」このような**インプット**

学習とアウトプット学習の反復を細かく行うことで、知識の定着を図りましょう。

☆おすすめツール1:「速聴機能」

インプット学習の1つに、講義音声の「速聴機能」をお勧めします。LECの通学(Webフォロー付)、通信(Web)では、講義音声がスマホ等にダウンロードできます。速聴機能を活用すれば時短にもつながります。

☆おすすめツール2:

「一問一答過去問BOOK」

アウトプット学習には、**一問一答過去問BOOK**を活用してください。一問一答過去問BOOKは、社労士試験の択一式で出題された五肢択一の問題を、一肢一肢インプットのテキストである「パーフェクト社労士」を同じ条文の順番に並び替えて掲載しています。インプットの講義を受講したら、間を空けず講義が進んだ箇所まで一問一答過去問BOOKに取りかかります。実際の社労士試験でどのように出題されているのかを知ることにより、その後の知識の吸収スピードをアップしていくことができます。**過去問を繰り返し解いて理解度を高め、合格をつかみ取りましょう。**

3. 試験範囲に含まれる法改正をきちんと

押さえる

社労士試験に合格するためには攻略必須の**法改正**については、スピードマスター合格コースに含まれる「**改正法攻略講座**」で対策できます。数ある法改正の中から今年の本試験で出題が予想される部分にポイントを絞って学習し、法改正がらみの問題での失点を防ぎましょう。

最後に、担当講師からのメッセージ

短期間で合格を勝ち取るためには、「**どの分野を重点的に学習すべきか**」を見極めることが非常に重要です。私の講義では、**重要な論点を明確にし、細かく重点的に解説**します。難解な法律用語や概念も、具体的な例を交えてわかりやすく説明しますので、安心してください。社労士試験は確かに難関ですが、正しい方法で学習すれば必ず合格できます。一緒に頑張りましょう!目標に向かって努力することは、必ずや実を結びます。皆さんの成功を心から応援しています。一緒に目標を達成しましょう!